

平成 30 年度 第 3 回 清瀬市史編さん委員会
議 事 要 旨

日 時： 平成 31 年 3 月 25 日（月）

午前 10 時～12 時

場 所： 第 2 委員会室（市役所本庁舎 4 階）

出席委員： 根岸茂夫、栗山 究、谷口康浩、浅倉直美、高村聰史、黒川徳男、
齊藤靖夫、坂間和英、岡田耕輔、黒田一美、小西一午、中澤弘行（12 名）

欠席委員： 齊藤隆雄（1 名）

事 務 局： 企画部長、市史編さん室長、市史係 3 名（5 名）

《次 第》

1. 開 会
2. 平成 30 年度活動報告
3. 2019（平成 31）年度事業計画
4. 『清瀬市史』の刊行について
 - 1) 清瀬市史執筆要領（案）について
 - 2) 『清瀬市史 3 資料編 古代・中世』刊行スケジュールについて
 - 3) 『清瀬市史 3 資料編 古代・中世』印刷製本業務委託仕様書について
5. 市制施行 50 周年記念誌について
 - 1) 市制施行 50 周年記念誌刊行スケジュールについて
6. 『市史研究 きよせ』第 4 号について
7. その他
 - 1) 次回会議予定
8. 閉 会

《配布資料等》

1. 会議次第（平成 30 年度 第 3 回 清瀬市史編さん委員会 次第）
2. 平成 30 年度事業報告【資料 I】
3. 2019（平成 31）年度事業計画【資料 II】
4. 清瀬市史執筆要領（案）【資料 III】
5. 『清瀬市史 3 資料編 古代・中世』刊行スケジュール【資料 IV】
6. 『清瀬市史 3 資料編 古代・中世』印刷製本業務委託仕様書【資料 V】
7. 市制施行 50 周年記念誌 刊行スケジュール【資料 VI】

《審議経過》

1. 開 会

事務局 定刻となりましたので、これより平成 30 年度第 3 回清瀬市史編さん委員会を開催させていただきます。

今回は、昨年 11 月に委員の任期が更新されてから初めての委員会となりますので、会議に先立ちまして委員長、副委員長の選出を行ないたいと思います。

再任をお願いできればと考えておりますが、いかがでしょうか。

委員 了承

事務局 それでは、委員長を根岸茂夫委員に、副委員長を栗山究委員に、引き続きお願いいたします。

では、議事進行を、根岸委員長よろしくお願いいたします。

委員長 おはようございます。年度末のお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。清瀬市史も来年度から本格的に刊行ということになり、これから皆さまのご協力をさらに仰がなくてはならないと思いますが、ぜひよろしくお願いいたします。

議事に入る前に、事務局より配布資料についてご説明いただきます。

事務局 (配布資料について説明)

2. 平成 30 年度事業報告

委員長 では、議事に移ります。

平成 30 年度活動報告について、【資料 I】に各部会の部会長からの活動報告がございます。各部会から簡単にご報告いただければと思います。時代順に、まず考古部会からお願いします。

考古部会長 考古部会の報告をいたします。

考古の資料編に向けた準備作業ですが、目次案の作成をしまして、それぞれの章の執筆担当者を決定したところです。まだ原案の段階ですが、考古資料編の青写真を描くことができました。

資料編に掲載する資料の調査も、順次進めております。既に報告されている資料についても、現在の研究水準から再検討すべき資料、実測し直すべき資料があります。具体的には、伊勢遺跡、清戸下宿遺跡、強清水遺跡、野塩地区で表採された未報告の縄文土器などですが、これらについての再調査、再整理なども進めております。

報告書刊行という項目に書きましたのは、中里の渋谷氏のお宅の敷地内にある土塁と、渋谷氏所蔵の中世の武器、武具の金具の調査報告書のこと、原稿をまとめ、印刷を進めているところです。

また、来年度委託予定の事業のなかに、縄文土器についての植物種子の圧痕分析があるのですが、市内所蔵の縄文土器から 80 点ほどの土器圧痕を収集しております。シリコンを使ったレプリカ作成をしますので、来年度詳しく分析調査する予定です。

懸案となっていた行方不明資料の搜索ですが、清戸下宿遺跡と強清水遺跡の資料が東京都の埋蔵文化財センターの倉庫にあることが判明し、今年度のうちに東京都から清瀬市の郷土博物館に資料が移管されました。清瀬に資料が戻りました。

地質調査のデータにつきましては、博物館が所蔵していた市内の公共施設の地質調査のデータと、齊藤隆雄委員のご協力によりまして大林組技術研究所所蔵のデータも収集することができました。

部会は、今年度は 4 回、定期的を開催し、以上の作業を順次進めて参りました。以上です。

委員長

ありがとうございました。では、このまま現代まで報告を続けていたきたいと思います。次に古代・中世部会お願いいたします。

古代・中世部会長

古代・中世部会では、資料編に写真を載せるということで、昨年に引き続き古文書調査を行ないました。細かい調査先については、【資料 I】の報告にまとめましたので、そちらをご覧ください。

今年度は特に、板碑の調査を集中して行ないました。板碑は大半が出土遺物ですので、考古部会の藪下さんのご協力をいただきながら進めました。資料のなかに「市史で候」のバックナンバーが配られていますが、no.83「五十一の巻」に板碑調査について詳しく報告されています。台東区の伊藤宏之さんという板碑の専門家に入ってくださいまして、毎回藪下さんにも作業を行なっていただき、急ピッチで板碑の調査を行ないました。

さきほど根岸委員長からもありました通り、来年度がいよいよ資料編刊行の年ということで、部会を開きながら原稿の作成を進めているところです。現在のところ、第 1 部の古代につきましては、ほぼ点数が確定し、原稿がかなり仕上がっている状況です。第 2 部の中世、第 3 部の板碑につきましても、点数の確定と原稿化の作業を順次進めているところです。

前にもお示ししましたように、B5 版の資料編なので、レイアウトとしては古文書調査で撮った写真を頁の上の方に載せ、下に内容と解説、つまり何が書いてあるかと注釈を載せることを考えています。現物の写真

をお示しすることで、まったく文字だけではないというところで、市民の方々にも親しんでいただけるようなものをめざしています。注の部分も、あまり難しくならず、それでいてポイントを押さえているようなものでなくてはならないので、部会員一同、鋭意努力しているところです。

以上です。

委員長／
近世部会長

ありがとうございました。次に近世部会について、私からお話します。

近世部会では、まず、市内の近世史料の調査を行ないながら、近世の資料編に掲載する資料を収集、検討いたしました。

市内にある近世の史料は、周辺の自治体に比べ少ないのですが、現在知られているところでは、郷土博物館に上清戸の村野家と、下宿の高橋家の史料があり、上清戸と下宿の史料はこれで補完できると考えています。

また、今回の市史編さん事業が始まってから発見された中里の渋谷家の史料は、まだ全部の整理はされていないのですが、3000点近くあります。大半が近現代の史料で、近世の史料はごく一部ですが、旗本の武蔵家と知行地である中里の関係が窺い知れる史料、武蔵氏の財政をいかに中里が支えていたかを物語る史料が出ております。今までにない新しい内容の資料です。旗本の武蔵石寿（せきじゅ）と中里村については、「市史で候」のno.84「五十二の巻」にも詳しく紹介されましたので、そちらもぜひご覧ください。

他にも郷土博物館には山下源寿家文書、渋谷信家文書があり、中里村の史料を新しく検討することができました。

一方、中清戸と下清戸の史料が見当たりません。前の市史で多少使われていますが、20年ほど前に私が調査したとき、既にその史料はなくなっていました。ただ、何点かそのときのコピーが博物館にあり、それが活動報告の1～3月のところに書いた、増田さん、松村さんの史料ですが、これは貴重なコピーです。

また、近世の資料編をどのように構成するかについて検討しました。崩し字で書かれている史料をどのように載せていくかについては、市町村史でそれぞれのやり方をとっています。清瀬市史では、なるべく原史料の形態を残したい、一方で読みやすくしたい、ということで筆写要綱を検討し、現在、見た史料を中心にどのような編成をしていくか、構成、掲載資料の検討を行なっています。

近世の報告は以上です。

委員長
近代部会長

次に、近代部会のご報告をお願いします。

近代部会では、清瀬市域だけでなくかつての三多摩郡に範囲を広げて周辺他市の史料にもあたっています。せっかく収集されても、自治体に

よっては活かされないまま眠っている史料も多くありますので、編さん室が残っているところや資料館などにあたっています。

三鷹の吉野家に清瀬の民権に関わる人たちの書簡があります。郡役所関係の史料もたくさんあり、興味深いものを拾ってきています。

また、世田谷の郷土博物館には、幕末から明治20年代にかけての郡役所や個人史料も豊富で活用できると思います。

国会図書館のプランゲ文庫には終戦直後の新聞や文学雑誌や病院の検閲史料があり、収集しています。GHQが清瀬の病院をどのように捉えていたか、おもしろいものが見えてきそうです。

聞き取り調査は、満州から清瀬に引き揚げて来られた方々から1月にお話を伺いました。

清瀬に関する新聞記事の資料化も調査員の手で進めています。

以上です。

委員長
現代部会長

それでは、続いて現代部会のご報告をお願いします。

現代部会では、まず、博物館に保管されている清瀬の公文書についての調査を行いました。現代史の原点のような農地改革の文書がけっこう残されていますので、その調査をしました。

農地改革の文書といっても、うまくいった方ではなく、異議申し立ての文書と、それから、その異議申し立てが最終的には裁判にまで発展したのもあるのですが、こうした、農地改革のなかでも、うまくいかなかった、軋轢を生んだ方の史料の調査をいたしました。

また、村会の会議録が明治から昭和まで残っておりますので、その内容について細かく見ていくということをしました。これは近代部会に属することですが、明治のはじめの頃の村会は、村当局と議員が対立しています。反対のための反対、というような展開もあるのですが、これはまさに自由民権運動の関係のものと考えられるわけです。そのうち自由党が再編成されて政友会に変わっていくなかで村会の中での対立も解消されていきます。全会一致でものごとが決まるようになります。

新聞記事については、近代部会の報告にもありましたが、清瀬の図書館に清瀬に関する戦後の新聞記事のスクラップがあり、これを見ました。詳細については近代部会の資料にあります。

また、聞き取りを積極的に進めました。ぜひ女性からの聞き取りを進めたいと今年度はじめの委員会でお願ひしましたところ、市史編さん室で連絡をとってくださり、聞き取り調査が叶いました。

まず、野塩で燃料店を営んでいる中村キミヨさんにお話をうかがい、成果を今回の市史研究に掲載しています。地元の商店と病院との関係についてのお話もたいへん興味深いものがありました。

また、病院でケースワーカーのお仕事をしていた方からもお話をうかがいました。

もと患者さんからもお話をうかがいました。清瀬病院に入院していた経験をお持ちの方から、今よりも劣悪な環境のなかでどのように過ごされたか、といったお話をうかがいました。

また、さきほどもお話が出ましたが、近現代合同で、満州からの引揚の方からお話をうかがいました。6名の方にお集まりいただき、引揚、戦後の引揚者の生活についてうかがいました。

あとは、一般的な図書のなかに出てくる清瀬関連の記事の確認、また、陸軍の統計や、陸軍が作成した地図など、これらは講演会がらみではありますが、こうした調査も行ないました。以上です。

委員 長
事務 局

では次に、市史編さん室の事業報告をお願いします。

平成30年度の事業報告について、【資料I】の最後にまとめております。

まず、市史編さん委員会の運営ですが、今年度も本日を含め3回の委員会を開催いたしました。

資料調査等としましては、専門部会の運営のほか、資料収集についての呼びかけを行ない、提供資料の受入れ、整理を行なっております。今年度は大型絵図のデータ化を行ないました。詳細は資料にある通りです。

附帯事業としまして、『市史研究 きよせ』第4号を編集いたしました。年度末刊行の予定です。

また、「市史講演会」第3回といたしまして、現代部会の黒川徳男部会長によります講演会「明治151年～清瀬の近代を考える～」を2月24日、生涯学習センター講座室1にて開催いたしました。

ブログ活用による事業の普及啓発としまして、市史編さんブログ「市史で候」の更新を続けております。今年度更新分を資料に添付しておりますのでご覧ください。

「市史で候」につきましては、平成30年4月より、新たに「市報 きよせ」におきまして各月1日号に「市史で候 mini」というコラムを連載しており、これまでの更新分から内容の概略をご紹介します。

市史編さん室の平成30年度事業報告は、以上です。

委員 長

ありがとうございました。考古部会から現代部会まで、また市史編さん室の今年度の活動について、ご報告いただきました。

ご質問等ですが、来年度の計画までお聞きしてから伺いたいと思いますがよろしいでしょうか。

委員

了承

3. 平成 31 年度事業計画について

委員長 では続いて、平成 31 年度の事業計画について、まず、考古部会からお
願います。

考古部会長 考古部会では、さきほどのご報告でもお話ししました通り、資料編の目
次構成と執筆担当者が決まりましたので、それに沿って掲載資料の選定
と、図版のレイアウト作業を進めていく計画です。

資料調査の方も、実測すべきものは実測し、未報告のものは整理して
資料化をしてまいります。

重要資料の選定についてですが、清瀬市内で出土した資料のなかでも
代表的な重要なものを選定しまして、修復をし直し、資料編や通史編の
巻頭写真に使えるような写真資料も、撮影等の準備を進めていきたいと
考えています。

近世の考古資料については、下宿内山遺跡の近世、一部中世と近代を
含みますが、資料が郷土博物館に所蔵されております。膨大な量があり
ますので、外部の埋蔵文化財の業者に委託しまして整理することになっ
ています。

もうひとつの委託事業として、縄文土器の種子圧痕の分析を行なう予
定です。

清瀬に戻ってきた強清水遺跡の旧石器時代の資料、縄文時代の資料、
野塩地区の表採資料については、それぞれ資料調査と図化を進め、報告
書を刊行する予定です。

その他には、地質関係のデータの収集と、地形観察、地質の地層断面
の観察ですが、新しい市役所の建設工事の際に、地層断面の観察を行な
う予定です。

部会については、31 年度の開催予定を決めましたので、これに沿って
開催していく予定です。

委員長 続きまして古代・中世部会お願いします。

古代・中世部会長 古代・中世部会は、来年度は資料編刊行作業の年です。今、調査が終わ
っているもの、原稿化作業をしているもので、予定の 800 ページ中 730
ページくらいにはなろうかと思いますが、あと少しの補填を考えていま
す。先方の都合もあってこれまで調査が叶わなかったところ等ですが、
可能であれば、この 1~2 か月で調査をし、順次整理原稿化をして、3 月
末の刊行をめざす、というところです。

委員長／
近世部会長 次に近世ですが、市内の資料確認調査がいちばん重要と考えています。
市内の史料をまだすべて検討しきれていませんので、これを調べ、資
料編に掲載する資料を決めていきたいと考えています。

また、市外の史料確認調査ができていません。特に所沢市の城、本郷地区の史料、さらに新座市の片山、菅沢あたりの史料、また、国立公文書館や、徳川林政史研究所の尾張家の史料、ここは目白にある私立の資料館ですが、重要な史料がありますので調べていきたいと思っています。

幕末に一時、このあたりは熊本藩の預かり地になったという史料が、熊本の細川家の私立史料保存機関である永青文庫（えいせいぶんこ）にあります。以前手に入れた史料があるので活かさないか検討していきます。

また、名古屋市立の蓬左文庫（ほうさぶんこ）に、鷹場に関する史料が目録にあるので、なにか別の機会に見ることができたらと考えています。

さらに大阪の中之島図書館に、野塩を江戸時代に領していた旗本、匂坂（さきさか）氏の史料がありそうです。匂坂氏は今川の一族で、元禄まで野塩を支配していました。円福寺に墓があります。

調布の深大寺に、中清戸の日枝神社のところにあった正覚寺の資料が若干あります。正覚寺は深大寺の住職の隠居寺になっていたようです。

そのようなものも調べながら、広い意味での清瀬の資料を集めていきたいと思っています。

近世の資料編刊行は再来年度ですので、崩し字を活字にしていく翻刻も急がなくてはならないと考えています。近世部会について、以上です。

では、近代部会お願いいたします。

博物館所蔵の諸家文書に近代のものもあるので、それを詳しく調べていきます。

また、市の広報紙は情報の宝庫ですので、改めて整理していきます。

行政文書も重要ですが、郡役所文書はばらばらになっているのですが、何か所か持っているところを見つけましたので、そこでの調査を考えています。

自由民権資料館も、現代部会と一緒に行って、見て来たいと思っています。

プランゲ文庫については、来年度夏までに調査を終えて、目録を作りたいと思っています。

聞き取りについては、女性を含め高齢者、また、もと議員の方にもお話をうかがいたいと思います。

新聞記事の調査も進めていきます。目録も作成したいと思います。都（みやこ）新聞には東京の情報が収められているので、現在進行中のカード化作業がおわりましたら、こちらの収集も進めていきたいと考えています。

委員長
近代部会長

委員 長
現代部会長

これ以外では、商店街、町内会についての調査もしたいと思います。
では、現代部会お願いします。

まず、博物館に移管されている公文書ですが、そろそろ本格的に、掲載方法のしっかりした調査と、資料の複写、掲載可能部分の判断を含め、検討をしていきます。農地改革の資料などは実名では掲載できないと思うので、掲載方法を検討しなくてはなりません。

村会の会議録についても、同様に掲載候補部分を複写し、年代、分野別に整理していく必要があります。

新聞記事については、特に戦後部分についてリストに基づいていくつかにランク付けし、分野別にする整理作業が必要になります。

聞き取りについては、戦後の自治会のあり方、政治的な行動、政治的な文化についての聞き取りを行ないたいです。昭和 21 年の 4 月から昭和 27 年くらいまでは、GHQ によって禁止されていたので日本には自治会や町内会は建前上はないのですが、別の名前をつけたりして存在し続けていたはずなので、そのあたりをご存じの方があれば、ぜひお話をうかがいたいです。

また、もと市議、市長、助役等をされていた方に、例えば昭和の市議会の状況であるとか、また、新しい住民が増えていくことでそれまでの市議会のあり方が変わったのではないかと思いますので、そのあたりを聞き取り調査したいと考えています。市史編さん室のみなさんと調整しながら進めたいと思います。

病院関係の資料収集についても、清瀬の市史ですので、しっかり進めていきたいと考えています。

プランゲ文庫の中には、患者団体、医療団体についての資料も入っていますので、近代部会と共にその収集を進めていきます。

鉄道関係の資料ですが、市史研究の第 3 号に、博物館の方が記事を書いています。そうした資料、また西武線、武蔵野線についての資料を集めていければと思っています。

戦後に作られた石碑の類は、自治体史ではあまり使われてきませんでしたが、写真は口絵等でも使えますので、気候がよいときに調査していきたいと考えています。以上です。

委員 長
事務局

続いて、市史編さん室の年度計画についてお願いします。

今年度同様、市史編さん委員会の運営、資料調査等関連業務、また附帯事業の実施を行なってまいります。

来年度は『清瀬市史 3 資料編 古代・中世』刊行の年ですので、これに係る作業、また、市制施行 50 周年記念誌刊行に係る作業についても注力してまいりたいと考えております。

- 委員長 以上、活動報告と活動計画をお話いただきましたが、ご質問、ご意見等ございますでしょうか。
- 委員 考古部会の31年度の計画のなかにある報告書刊行についてですが、強清水遺跡とあるのは、鉄道ができたときの調査資料のことですか？
- 考古部会長 そうです。一部の資料が前の市史に掲載されていたのですが、資料そのものが所在不明になっていました。当時の調査関係者に連絡を取るなどして捜索を続けていくなかで、都の埋蔵文化財センターの倉庫にあることが判明しました。当時の実測図や原稿類も見つかりました。
- 委員 発掘調査しているときにしょっちゅう見に行っていました。環濠の部落、豪族の屋敷跡のようなものが出ていましたが、そういうものはありませんでしたか？
- 強清水についても、言い伝えはあるが文献史料がないということで、反対はあったんですが埋められてしまったんです。同じことが、高速道路の工事のときにも言えます。調査のときに井戸の中から古銭や板碑が出て、新聞にも出ました。それらの資料は清瀬の郷土博物館にあるはずですが、調査されないままです。
- 古代・中世部会長 新聞に出たのはいつごろのことですか
- 委員 昭和42年から45年ごろでしょうか。資料は郷土博物館にあると聞いています。ぜひ調べていただきたいです。
- 委員長 ありがとうございます。詳しいことはまた別の機会にお聞かせいただけたらと思います。他にございますか。
- 委員 石碑、板碑の調査をなさっていますが、郷土研究会で先輩たちが調査して作った資料がデータで残っていたので、さきほど編さん室にお渡ししました。一度、ご覧いただきたいと思います。石碑のなかには移動したり、なくなっているものもあるかと思います。
- 委員 もと議員の話を聞きたいということでしたが、6か村のころからすると、存命のもと議員は一人だけになりました。別件で先日も戦中の話を大正生まれの人に聞こうとしましたが、叶いませんでした。大正生まれだともう90歳を超えていますから、昔の話を聞くというのは、実に難しいです。
- 現代部会長 そこを何とか。清瀬の古いことをご存知の方をぜひご紹介いただきたいと思います。特に昭和20年代、30年代のお話をうかがえるとありがたいです。
- 委員長 ご意見ありがとうございました。
- では、次の議題に移りたいと思います。

4. 『清瀬市史』の刊行について

- 委員長 『清瀬市史』の刊行について、事務局からご説明をお願いします。
- 事務局 まず、これから市史の執筆をしていただくにあたり、各巻に共通してご留意いただきたいことを、「清瀬市史執筆要領（案）」としてまとめました。写真や図版の取扱いについて、著作権について、等々について記載しました。この他の詳細については、各巻ごとに定めていく、ということをお願いしたいと思います。以上です。
- 委員長 これについてご質問、ご意見ありますでしょうか。このような形で書いていく、ということよろしいでしょうか。
- 委員 了承
- 委員長 ありがとうございます。それでは、次に、『清瀬市史 3 資料編 古代・中世』の刊行スケジュールについて、続けてご説明お願いいたします。
- 事務局 5月末に指名競争入札により業者を決定し、契約いたします。原稿は、7月末を目途に入稿し、3校と念校、色校正ののち、年明け1月には印刷、製本、2月末に納品、年度末には頒布できるようにしたいと考えています。
- 委員長 この件につきまして、古代・中世部会長から何かございますか。
- 古代・中世部会長 がんばりたいと思います。
- 委員 編集作業はどのように行なうのでしょうか。業者によって力量が大きく違いますから、安いからといって値段だけで業者を選ばないように願います。
- 委員長 だいじなご指摘をありがとうございます。
- 事務局 それを含めて仕様書についての説明を事務局からお願いします。
- 事務局 『清瀬市史 3 資料編 古代・中世』の印刷製本業務委託仕様書につきまして、お配りした資料のように考えております。
- 委員 さきほど、業者選びについてご意見をいただきましたが、仕様書のなかにも、実施にあたっての条件として、「自治体史出版の実績があること」を入れております。
- 委員 実施にあたっての条件のなかに、業者の編集担当者が「校閲」とありますが、「校閲」では業者が内容についてのチェックをすることになると思うので、校閲という言葉でなく、誤解のない言い方に改めたほうがよいと思います。
- 委員長 ご指摘ありがとうございます。
- 事務局 ありがとうございます。ご指摘の部分、改めます。
- 委員 データ入稿でしょうか？ 業者に入力を頼むと、文字の変換ミスなどが心配です。
- 古代・中世部会長 入稿はデータで行ないます。原稿作成者として入力ミスのないように気

を付けます。

委員 文字使い、特に漢字で書くか、ひらがなにするか、出版社によって方針が違います。全巻に共通する方針をこちらで示した方がよいと思います。毎回競争入札を行なうとなると、巻によって業者が異なる可能性もあるので、なおのこと大切だと思います。

委員長 漢字かひらがなか、また単位の書き方についても全巻通しての方針を示しておくのは重要と思います。印刷業者のなかには、細かく基準を持っているところもあるので、そうしたものも参考にしつつ考えていきたいと思います。そういうことでよろしいでしょうか。

委員 了承

5. 市制施行 50 周年記念誌について

委員長 市制施行 50 周年記念誌について、事務局からご説明ください。

事務局 市制施行 50 周年記念誌掲載の写真選定について、5 月ごろ、市史編さん委員会の主に団体代表、市民公募の委員の方々にご検討いただく機会を持ちたいと考えています。6 月あるいは 7 月に行なう来年度第 1 回の市史編さん委員会において、その結果などについてご報告できると思います。

市制施行 50 周年にあたる 2020 年の 10 月 1 日には配付、頒布できるよう、その後のスケジュールを考えております。

委員長 刊行が 2020 年の 10 月ということで、2019 年のうちにどういふことをやらなくてはならないかお示しいただきました。これについてご意見、ご質問いかがでしょうか。

以前からいただいた意見をもとに、近現代の写真を中心として、テーマ設定をし、写真を解説していくというお話になっています。

考古部会長 近現代以前の部会による原稿執筆というのは、どういった内容のものか確認させてください。

委員長 見開き程度で簡単に、考古、古代・中世、近世の話をし、そのあとに近現代の写真解説が始まるという導入部分の位置づけですので、内容を工夫しましょうというお話でした。

考古部会長 わかりました。

委員長 他になれば、次の議題に移りたいと思います。

6. 『市史研究 きよせ』第 4 号について

委員長 では、『市史研究 きよせ』第4号について、事務局からご説明をお願いします。

事務局 目次のコピーをお配りしています。第4号は、このような内容となっております。

 また、関係者名簿の部分についてコピーをお手元にお配りしておりますので、お名前、肩書等ご確認ください。

 全体につきましては、最終校正稿が編さん室にありますので、もしよろしければご覧ください。

委員長 この件について、なにかご意見、ご質問等いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

委員 了承

7. その他

委員長 これまでの全般に関して、何かご意見等ございますでしょうか。

委員 市制施行50周年記念誌については、当初市史の普及啓発版ということで考えていたものが、市制施行50周年の年に記念誌の形で出されるということになり、より強い形になったと思います。委員会として総力をあげて協力していきたいと思います。

委員長 ありがとうございます。よろしく申し上げます。

 では、最後に次回の委員会の予定について、事務局からお願いします。

事務局 次回、平成31年度第1回清瀬市史編さん委員会の開催は、6月から7月ごろを予定しております。近づきましたら日程調整等改めてご連絡させていただきますのでよろしくお願いいたします。

委員長 記念誌に掲載する写真の選定会を5月に開催し、その後開かれる来年度第1回の委員会で進展についてご報告があるということですね。ご協力をよろしくお願いいたします。

 以上、ご了承いただけますでしょうか。

委員 了承

8. 閉会

委員長 それではこれで平成30年度第3回清瀬市史編さん委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

平成 30 年度事業報告

- ◇ 考古部会
- ◇ 古代・中世部会
- ◇ 近世部会
- ◇ 近代部会
- ◇ 現代部会
- ◇ 市史編さん室

■考古部会【平成30年度活動報告】

作業項目	第1四半期（4月～6月）	第2四半期（7月～9月）	第3四半期（10月～12月）	第4四半期（1月～3月）
考古資料編準備	掲載資料選定・レイアウト作業 →			
資料調査 (清瀬市郷土博物館)	既報告資料の再検討・再実測 →			
	石材調査（基礎資料・文献集成） →			
	未報告資料の整理 →			
報告書刊行	作図 文献調査・図版借用許可申請	作図 文献調査・図版借用許可申請	追加資料調査 文献調査・執筆	中里・渋谷氏屋敷地内調査報告書刊行
委託事業（土器圧痕分析）	分析委託資料の選別 (野塩前原・前原東遺跡)	(野塩前原・前原東遺跡)	(野塩前原・前原東・野火止野塩・強清水・野塩外山遺跡)	分析委託資料の選別、観察表の作成 →
行方不明資料の搜索・資料収集	市内・市外問合せ →			
	東京都から資料移管（清戸下宿・強清水遺跡） →			
市内地質調査データの収集	提供データの確認、転送 →			
部会会議	開催		開催	開催

■古代・中世部会【平成30年度活動報告】

作業項目	第1四半期（4月～6月）	第2四半期（7月～9月）	第3四半期（10月～12月）	第4四半期（1月～3月）
古文書調査	5/5 仙台市立博物館 6/30 青梅市 虎柏神社	7/30 桐生市 彦部家文書 7/31 さくら市 喜連川文書 8/1 佐野市 小野寺文書 8/23 座間市 鈴木文書 8/27 東久留米市 多功文書 9/1 上越市 居多神社文書 9/10 高崎市 木暮文書 9/11 前橋市 奈良原文書	11/22 群馬県立歴史博物館 11/23 長野県立歴史館 11/30 焼津市 河合文書	12/29 前橋市 松田文書
板碑調査	6/3 市内寺院所蔵板碑 6/10 市内寺院所蔵板碑	7/8 郷土博物館収蔵板碑 7/16 郷土博物館収蔵板碑 8/19 郷土博物館収蔵板碑 9/2 郷土博物館収蔵板碑	10/8 郷土博物館収蔵板碑 11/3 郷土博物館収蔵板碑 11/25 郷土博物館収蔵板碑 12/25 共同墓地所在板碑	
資料編原稿作成 市史研究原稿作成 編集会議	原稿作成・打ち合わせ	原稿作成・打ち合わせ	原稿作成・打ち合わせ	原稿作成・打ち合わせ 市史研究原稿作成・校

■近世部会【平成30年度活動報告】

作業項目	第1四半期（4月～6月）	第2四半期（7月～9月）	第3四半期（10月～12月）	第4四半期（1月～3月）
市内資料確認調査	博物館所蔵 村野家・高橋家	博物館所蔵 村野家・高橋家 山下源寿家・渋谷信家・渋谷悦家	博物館所蔵 村野家・高橋家 山下源寿家・渋谷信家・渋谷悦家 市史編さん室収集 渋谷信之家	博物館所蔵 旧清瀬市史コピー （増田元次家・松村重男家） 市史編さん室収集 渋谷信之家
資料編構成の検討	資料編近世の筆写要綱を検討	資料編近世の構成を検討	資料編近世の構成を検討	資料編近世の掲載史料を検討

■近代部会【平成30年度活動報告】

作業項目	第1四半期（4月～6月）	第2四半期（7月～9月）	第3四半期（10月～12月）	第4四半期（1月～3月）
部会運営	現代部会長と打ち合わせ→	現代部会長と打ち合わせ→	調査員（3名）	現代部会長と打ち合わせ→
行政文書		博物館所蔵行政文書調査→	博物館所蔵行政文書調査→	博物館所蔵行政文書調査→
地方（地域）文書調査			三鷹市教育委員会（「吉野泰平家文書」）	
文献資料調査	周辺自治体史調査→ 立川市史調査	周辺自治体史調査→	世田谷区所蔵調査（郷土資料館） 東大和市所蔵調査 世田谷郷土資料館所蔵資料調査	世田谷区所蔵調査（郷土資料館） 東大和市所蔵調査 世田谷郷土資料館所蔵資料調査
国会図書館				
聞き取り調査		GHQ資料（占領期）→	GHQ資料（占領期）→	プランゲコレクション調査収集 満州引揚と戦後生活（6名）
新聞記事調査				清瀬関係記事カード化→

■現代部会【平成30年度活動報告】

作業項目	第1四半期（4月～6月）	第2四半期（7月～9月）	第3四半期（10月～12月）	第4四半期（1月～3月）
博物館移管公文書	農地改革関係文書調査	農地改革関係文書調査		
村会会議録		明治～昭和会議録記事抜粋	明治～昭和会議録記事抜粋	
新聞記事			図書館所蔵清瀬関係新聞記事 スクラップの確認	
聞き取り			女性1名からの聞き取り	女性2名と引揚者グループから
図書資料の調査	一般的図書の清瀬関係記事	一般的図書の清瀬関係記事	一般的図書の清瀬関係記事	陸軍の統計、地図ほか

〈市史編さん室〉
平成 30 年度年間事業報告

1 市史編さん委員会運営

清瀬市史編さん基本方針に基づく編さん事業の管理

(1) 市史編さん委員会の開催（年3回）

[第1回]平成 30 年 5 月 21 日（月）

[第2回]平成 30 年 8 月 2 日（木）

[第3回]平成 31 年 3 月 25 日（月）

2 資料調査等

清瀬市史編さんに係る資料の収集や資料調査等

(1) 専門部会の運営 ※各部会活動報告参照

(2) 部会長会の開催（4 回）

(3) 資料収集・調査等

ア 市民提供資料受入れ

イ 写真等、資料提供の呼びかけ

ウ 収集した資料の整理

エ 市制施行 50 周年記念誌刊行に伴う準備作業

オ 市内石碑の件数調査を清瀬市ホームページで報告

カ 病院街・結核療養等に関する資料や情報の収集・取材

キ 土器圧痕調査

ク 東京都教育委員会より強清水遺跡の考古資料を移管

ケ 考古部会調査報告書の刊行

(4) 大型絵図のデジタル化

	資料名	所蔵元
1	第拾壹大区七小区武蔵国多摩郡中里村 壹	渋谷氏
2	第拾壹大区七小区武蔵国多摩郡中里村 二	
3	第拾壹大区七小区武蔵国多摩郡中里村 三	
4	明治二年絵図	
5	神奈川県管下第十壹大区七小区多摩郡野塩村（絵図）	独立行政法人 国立病院機構 東京病院
6	病棟配置図	
7	病院鳥瞰図（水彩画）	清瀬市郷土博物館
8	大日本鉄道路線図	
9	地域不明地籍図	
10	清戸下宿鹿絵図	
11	中里村宮下第九番	
12	中里村宮前第十一番	
13	中里村金山道四番	
14	中里村絵図	
15	中里村山戸五番	

(5) 歴史関連の問い合わせへの対応

庁内、市民、市外住民、他自治体等からの問い合わせに対応した。

3 市史編さん付帯事業の実施

(1) 『市史研究 きよせ』に関する事業

- ア 第1号の普及
 - 献本 5冊（調査先等）
 - 販売 19冊（※売り切れ）
- イ 第2号の普及
 - 献本 10冊（調査先等）
 - 販売 50冊
- ウ 第3号の普及
 - 献本 237冊（市内各図書館・学校等、近隣市機関、国会図書館）
 - 販売 119冊
- エ 第4号の編集・発行（500部刊行予定）【別添参照】

(2) 市史講演会の開催

市史講演会第3回「明治151年～清瀬の近代を考える～」

講師：黒川 徳男 氏（現代部会長）

日時：平成31年2月24日（日）午後2時～4時

会場：生涯学習センター講座室1

参加者：43名

(3) 普及啓発及び広報活動

- ア 市史編さんブログ「市史で候」の更新 ※別添参照
 - 四十六の巻（3）「ここに清瀬病院ありき」第3回幕が下りる【平成30.4.20更新】
 - ～五十六の巻「明治151年 清瀬の近代を考えた。」【平成31.2.28更新】
- イ 「市史で候」プリントアウト版の更新
- ウ 職員掲示板に「市史で候」更新分をアップ
- エ 市報におけるコラム「市史で候 mini」連載
 - [4月] 柳瀬川の桜
 - 「市史で候」十一の巻「柳瀬川の桜」より
 - [5月] キョセ ケヤキ ロードギャラリー
 - 「市史で候」十三の巻「けやき並木の彫刻たち」より
 - [6月] 清瀬市民プール小史
 - 「市史で候」二十八の巻「夏だ！プールだ！清瀬市民プール小史」より
 - [7月] 昭和のゴミ箱詐欺?!
 - 「市史で候」十九の巻「昭和のゴミ箱詐欺?!」より
 - [8月] ひまわり+ひまわり+ひまわり
 - 「市史で候」十六の巻「きよせ と ひまわり」より
 - [9月] 病院街 歴史探訪
 - 「市史で候」五の巻「病院街の歴史紹介シリーズ」
 - 二十四の巻「結核と清瀬」、
 - 四十六の巻「ここに清瀬病院ありき」より

- [10月] 今日は何の日？
「市史で候」七の巻「10月1日は何の日？」より
- [11月] 小金井街道 1961
「市史で候」二十二の巻「きよせ回顧写真館 1：小金井街道」より
- [12月] 働く自動車
「市史で候」二十一の巻「74,365」及び二十三の巻「三輪車購入」より
- [1月] 中里村と旗本石寿
「市史で候」五十二の巻「中里村と旗本石寿」より
- [2月] 市史講演会
「市史で候」三十三の巻「市史講演会第1回満員御礼」及び
四十五の巻「いざ、中世を訪ねる時空の旅へ」より
- [3月] 清瀬の象徴
「市史で候」四十三の巻「清瀬の象徴」より

オ 資料提供呼びかけ

- ① チラシ作成・配布
- ② 市役所 1 階ロビーのモニターでの周知（2月）
- ③ 『市報 きよせ』記事掲載「清瀬市の写真を探しています」
市報 10月15日号、市報 1月1日号

4 その他

- (1) 結核予防会と清瀬市によるブックカバー制作
- (2) K I Y O S E 結核会議への協力

平成 31 年度事業計画

- ◇ 考古部会
- ◇ 古代・中世部会
- ◇ 近世部会
- ◇ 近代部会
- ◇ 現代部会
- ◇ 市史編さん室

■考古部会【平成31年度活動計画】				
作業項目	第1四半期（4月～6月）	第2四半期（7月～9月）	第3四半期（10月～12月）	第4四半期（1月～3月）
考古資料編準備	掲載資料選定・レイアウト作業 →			
資料調査	既報告資料の再検討・再実測・未報告資料の整理 →			
重要資料の選定	資料検討	修復・撮影資料の確定（旧石器時代、縄文時代、古代・中世（一部））		
報告書刊行 （強清水遺跡、野塩表採資料）	資料調査・図化	資料調査・図化・執筆	資料調査・図化・執筆・写真撮刊行	
委託事業（土器圧痕分析）	分析委託資料の選別・観察表の作成 （野塩前原・前原東・野塩外山遺跡）	分析委託資料の選別・観察表の作成 （下宿内山遺跡）	分析委託	
石材調査	文献調査・野外調査 →			
行方不明資料の搜索・資料収集	市内・市外問合せ →			
市内地質調査データの収集	文献調査 →			
市内地形観察	地形、地層断面の観察、記録 →			
部会会議	開催		開催	開催

■古代・中世部会【平成31年度活動計画】

作業項目	第1四半期(4月～6月)	第2四半期(7月～9月)	第3四半期(10月～12月)	第4四半期(1月～3月)
資料編 編集作業	原稿 作成 原稿 整理 目次・花押一覧 作成	原稿入稿（～7月末日） 初校校正（～9月末日）	再校校正返却（11月10日） 三校校正返却（12月10日）	念校ゲラ・色校正返却 （1月20日）
古文書調査	未調査分 東京大学国史研究室 早稲田大学図書館 国立公文書館 お茶の水図書館 ほか			
板碑調査	未調査分 長命寺 ほか			

■近世部会【平成31年度活動計画】

作業項目	第1四半期（4月～6月）	第2四半期（7月～9月）	第3四半期（10月～12月）	第4四半期（1月～3月）
市内資料確認調査	月1回×3 博物館・編さん室収蔵史料調査撮影	月1回×3 博物館・編さん室収蔵史料調査撮影	月1回×3 博物館・編さん室収蔵史料調査撮影	月1回×3
市外史料確認調査	3日分×3 所沢市・新座市・国立公文書館	5日分×3 徳川林政史研究所など		
資料編構成の検討・編集作業	月2回×3	月2回×3	月3回×3	月5回×3
翻刻作業	10日分×3 翻刻作業を日数換算	15日分×3	20日分×3	15日分×3

■近代部会【平成31年度活動計画】

作業項目	第1四半期（4月～6月）	第2四半期（7月～9月）	第3四半期（10月～12月）	第4四半期（1月～3月）
部会運営	部会編成	→		
行政文書調査	博物館所蔵行政文書→	博物館所蔵行政文書→ 東京府・郡役所文書調査	博物館所蔵行政文書→ 東京府・郡役所文書調査	博物館所蔵資料 東京府・郡役所文書調査
地方（地域）文書	（旧三多摩地域中心） 世田谷区・東大和市調査 清瀬市史収集資料（各家） 市広報紙など	調布市・府中市・国分寺市 清瀬市史収集資料（各家）	立川市・埼玉県（県立文書館） 清瀬市史収集資料（各家）	埼玉県 自由民権資料館調査
文献調査	周辺自治体史調査	『青梅市史』『八王子市史』	『羽村市史』などなど	
国会図書館	プランゲコレクション調査	→	目録作成	→
聞き取り	高齢者・元議員など	高齢者・元議員など	高齢者・元議員など	高齢者・元議員など
新聞記事調査（カード化）	カード化継続→	目録作成→	『都新聞』（国会）調査→	『都新聞』（国会）調査→
その他	商店街・町内会調査 病院	商店街・町内会調査	商店街・町内会調査	商店街・町内会調査

■現代部会【平成31年度活動計画】

作業項目	第1四半期(4月～6月)	第2四半期(7月～9月)	第3四半期(10月～12月)	第4四半期(1月～3月)
博物館移管公文書調査	掲載候補部分調査と複写	掲載候補部分調査と複写	掲載候補部分調査と複写	掲載候補分野年代別整理
村会会議録調査	掲載候補部分調査と複写	掲載候補部分調査と複写	掲載候補部分調査と複写	掲載候補分野年代別整理
新聞記事調査	新聞記事リスト化とランク付け	新聞記事リスト化とランク付け	新聞記事リスト化とランク付け	掲載候補記事の複写と整理
聞き取り	自治会・各種団体・元市議等	自治会・各種団体・元市議等	自治会・各種団体・元市議等	自治会・各種団体・元市議等
病院関係資料収集	各病院関係資料・公文書(都・国)	各病院関係資料・公文書(都・国)	各病院関係資料・公文書(都・国)	各病院関係資料・公文書(都・国)
戦後占領関係資料収集	国会図書館調査GHQ文書 プランゲ文庫	国会図書館調査GHQ文書 プランゲ文庫	国会図書館調査GHQ文書 プランゲ文庫	国会図書館調査GHQ文書 プランゲ文庫
鉄道関係資料収集	関係公文書ほか収集	関係公文書ほか収集	関係公文書ほか収集	関係公文書ほか収集
図書資料の確認	大学図書館所蔵資料の調査	大学図書館所蔵資料の調査	大学図書館所蔵資料の調査	大学図書館所蔵資料の調査
金石文調査	戦後建立石碑調査		戦後建立石碑調査	戦後建立石碑調査

〈市史編さん室〉

2019年度（平成31年度）事業計画

1 市史編さん委員会運営

清瀬市史編さん基本方針に基づく編さん事業の管理

(1) 市史編さん委員会の開催（年3回）

2 資料調査等

清瀬市史編さんに係る資料の収集や資料調査等

(1) 専門部会の運営

(2) 部会長調整会議の開催

(3) 資料収集・調査等

(4) 歴史関連の問い合わせへの対応

3 『清瀬市史3資料編 古代・中世』刊行に係る作業

(1) 原稿の入稿調整・校正等

(2) 資料・写真等の掲載許諾等

(3) 寄贈・頒布等

4 市制施行50周年記念誌刊行に係る作業

(1) 掲載写真選定会の開催

(2) 資料・写真等の収集

(3) 原稿準備・調整等

5 市史編さん付帯事業の実施

(1) 『市史研究 きよせ』第5号の編集・刊行・頒布等に係る作業

(2) 市史講演会の開催

(3) 普及啓発及び広報活動

(4) きよせ出前講座